

いわての観光統計

「観光入込客統計に関する共通基準」

に基づく東北6県の比較分析

(平成22～23年度)



岩手県PRキャラクター「わんこきょうだい」

平成25年3月

岩手県 商工労働観光部 観光課

「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく東北6県の比較分析（平成22～23年度）

<目的>

- 「観光入込客統計に関する共通基準」は、平成21年12月に観光庁が策定したものである。従来各都道府県によって、定義がまちまちであった観光入込客数や観光消費額を、訪問目的別（観光/ビジネス）や発地別（県内/県外/外国人）に、地域間で比較することが可能な形で把握するための共通基準を策定し、各地域間で観光に関する現状や動向を横並び比較することが可能となったものである。（平成22年度から各都道府県が順次導入。）
- これまで、岩手県内における四半期及び年度による比較を実施してきたが、今回新たに東北6県で比較分析を実施した。他県での観光客の延べ人数、実人数及び観光消費額等を比較することで、東北における岩手県の観光特性を把握することができ、他県との観光特性の違いを明らかにすることができる。

<対象>

1) 対象エリア

- 岩手県を含む東北6県

2) 対象データ

- 平成22年4-6月期調査～平成24年1-3月期調査（8四半期分データ）

各県の公表状況は下表のとおりである。これらのデータを年度で整理し、平成22年度は秋田県を除いた5県での比較（秋田県のみ平成23年1-3月調査から導入）、平成23年度は福島県のみ1-3月期が集計中であることから（平成25年2月末現在）、予測値※で補完し6県で比較した。用いたデータは、日本人・観光目的の観光入込客数（実数）、観光消費額単価及び観光消費額である。なお、平成22年度は年間値（平成22年度）を、平成23年度は各四半期の合算値で整理した値を用いた。

東北6県の公表状況

県/期	平成22年度				平成23年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
岩手県	●	●	●	●	●	●	●	●
青森県	●	●	●	●	●	●	●	●
宮城県	●	●	●	●	●	●	●	●
秋田県	—	—	—	●	●	●	●	●
山形県	●	●	●	●	●	●	●	●
福島県	●	●	●	●	●	●	●	○※

<平成25年2月末現在>

凡例 ●：公表済 ○：集計中 —：調査対象外（未導入）

（※ 平成22年度の1-3月期/10-12月期で比率を算出し、平成23年度の10-12月期にこの算出した比率を乗じて、平成23年度の1-3月期の予測値を便宜的に算出。）

3) 分析項目

- ① 観光入込客数と観光消費額の比較
- ② 観光形態別の観光入込客数と観光消費額の比較
- ③ 観光消費額単価の比較
- ④ 東北6県平均値と岩手県の比率の比較

3) 分析項目

① 観光入込客数と観光消費額の比較

- 平成 22 年度（震災前）と平成 23 年度（震災後）において、東北各県の延べ観光入込客数、実観光入込客数、観光消費額及び観光消費額単価を分析した。
- 平成 22 年度と平成 23 年度を比較することで、震災前の観光特性の違い、震災後の観光入込客数、観光消費額への影響の違いを把握することが可能となる。
- 各項目での平成 22 年度、平成 23 年度を比較した図（4 項目）と、平成 22 年度の値を基準とした平成 23 年度の比率を項目別に示した図・表を本頁及び次頁に示す。

- 平成 23 年度における岩手県の延べ観光入込客数は東北 6 県で最も少なく、実観光入込客数では秋田県に次いで少ない。また、観光消費額の総額は青森県に次いで低いが、観光消費額単価は秋田県、福島県に次いで高い。【図 1、図 2、図 3、図 4】
- 観光入込客数（延べ・実数共）は、青森県、宮城県及び福島県と比較して下げ幅は少ない。【図 1、図 2】
- 平成 22 年度の値を基準値とした平成 23 年度の比率は、岩手県は全体的に概ね 9 割程度となっている。【図 5】
- 太平洋側の 4 県（青森・岩手・宮城・福島）の平成 23 年度の観光消費額単価は、概ね平成 22 年度と同等程度であるのに対して、日本海側の山形県（秋田県は比較できず）は大幅に下がっている。【図 5】
- 宿泊客は平成 22 年度より増加（県内客 1.18、県外客 1.08）している。一方、宿泊客のうち県内客の観光消費額単価は大きく減少（0.59）しており、その結果、観光消費額も減少（0.69）している。今後、観光消費額全体の底上げのためには、県内宿泊客の観光消費額単価を震災前の水準に回復させる施策も有効であると考えられる。【表 1〈比率〉】

<H22>

都道府県	延べ観光入込客数（千人・回）	①実観光入込客数（千人・回）				②観光消費額単価（円/人・回）				③観光消費額（百万円）			
		県内		県外		県内		県外		県内		県外	
		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
02 青森県	53,393	461	10,333	1,160	2,920	16,876	3,519	28,438	8,013	7,780	36,366	32,980	23,401
03 岩手県	27,870	1,269	6,210	1,622	3,193	17,131	3,703	28,119	9,321	21,747	22,998	45,611	29,768
04 宮城県	52,160	1,688	10,810	2,924	4,554	14,936	3,492	24,085	8,170	25,216	37,748	70,432	37,209
05 秋田県		78	784	90	823	19,782	3,083	25,433	6,571	1,543	2,417	2,289	5,408
06 山形県	44,305	1,354	5,117	1,770	6,281	19,386	7,314	27,069	9,860	26,242	37,428	47,905	61,931
07 福島県	55,883	1,567	9,588	3,272	8,116	20,375	4,250	27,455	7,817	31,937	40,753	89,831	63,447

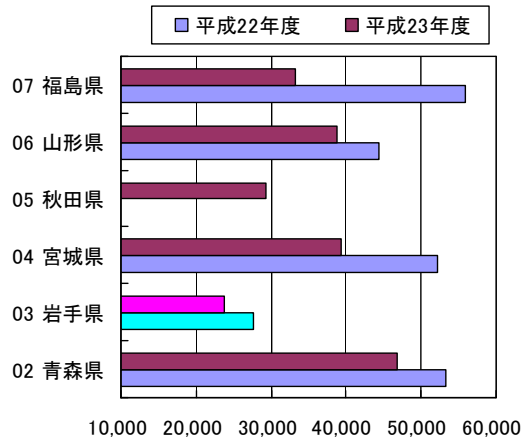
<H23>

都道府県	延べ観光入込客数（千人・回）	①実観光入込客数（千人・回）				②観光消費額単価（円/人・回）				③観光消費額（百万円）			
		県内		県外		県内		県外		県内		県外	
		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
02 青森県	46,820	421	7,375	1,167	2,635	16,926	3,296	33,563	7,091	7,126	24,306	39,168	18,684
03 岩手県	23,849	1,495	4,774	1,749	3,173	10,033	3,870	27,671	6,889	15,002	18,474	48,401	21,860
04 宮城県	39,331	1,617	9,185	2,108	2,997	17,570	3,734	23,243	6,621	28,411	34,294	48,996	19,842
05 秋田県	29,386	458	3,927	860	5,086	25,926	5,406	32,290	11,304	11,874	21,230	27,769	57,490
06 山形県	38,774	1,080	5,283	1,597	6,419	17,976	3,590	20,406	6,162	19,414	18,966	32,589	39,555
07 福島県	33,174	1,482	8,461	1,611	2,367	22,308	4,510	29,517	10,847	33,054	38,160	47,563	25,675

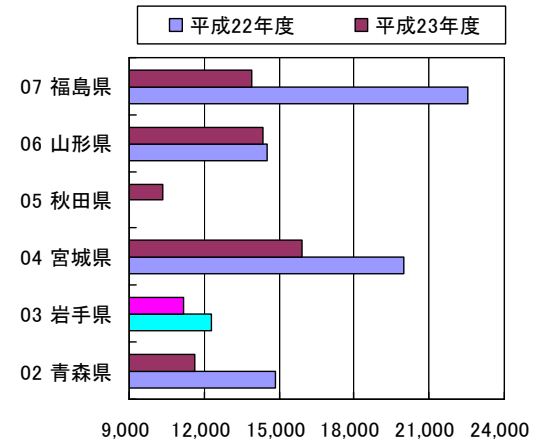
<比率(H22を1とする)>

都道府県	延べ観光入込客数（千人・回）	①実観光入込客数（千人・回）				②観光消費額単価（円/人・回）				③観光消費額（百万円）			
		県内		県外		県内		県外		県内		県外	
		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
02 青森県	0.88	0.91	0.71	1.01	0.90	1.00	0.94	1.18	0.88	0.92	0.67	1.19	0.80
03 岩手県	0.86	1.18	0.77	1.08	0.99	0.59	1.05	0.98	0.74	0.69	0.80	1.06	0.73
04 宮城県	0.75	0.96	0.85	0.72	0.66	1.18	1.07	0.97	0.81	1.13	0.91	0.70	0.53
05 秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
06 山形県	0.88	0.80	1.03	0.90	1.02	0.93	0.49	0.75	0.62	0.74	0.51	0.68	0.64
07 福島県	0.59	0.95	0.88	0.49	0.29	1.09	1.06	1.08	1.39	1.03	0.94	0.53	0.40

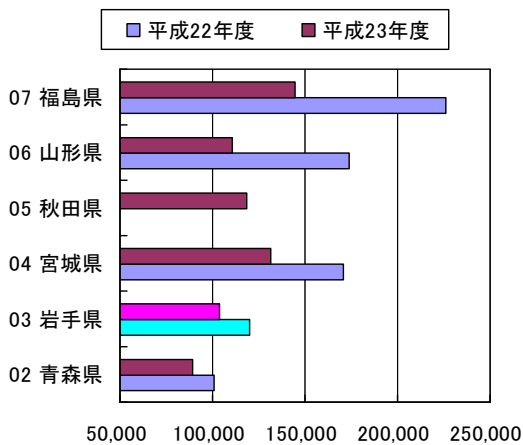
【表 1】平成 22 年度と平成 23 年度の観光入込客数、観光消費額単価及び観光消費額



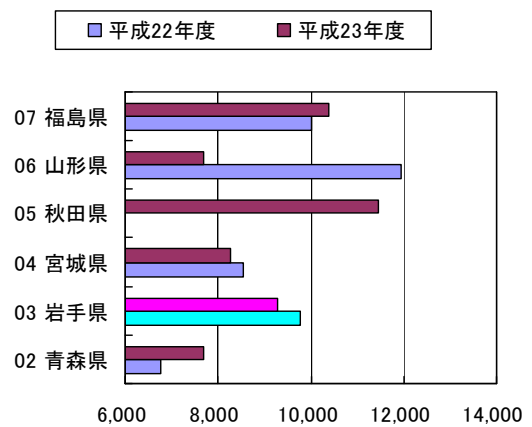
【図1】 延べ観光入込客数(千人回)



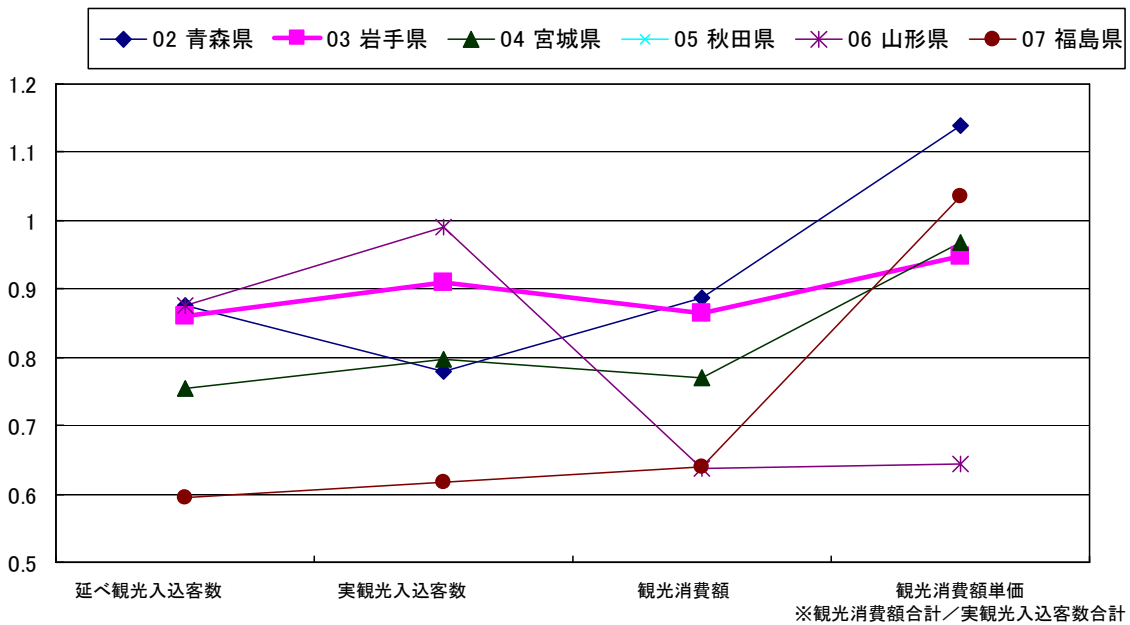
【図2】 実観光入込客数(千人・回)



【図3】 観光消費額(百万円)



【図4】 観光消費額単価(円)
※観光消費額合計/実観光入込客数合計

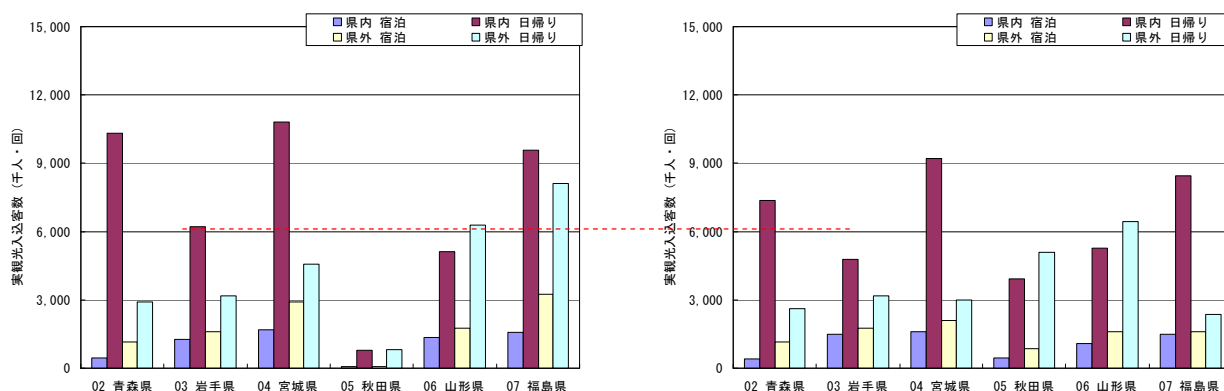


【図5】 平成23年度における各値の比率(平成22年度の値を1とした場合)

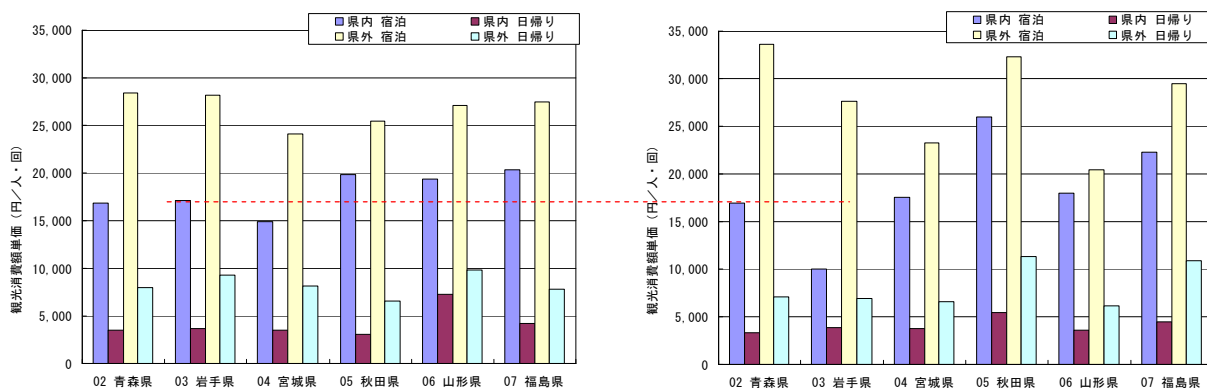
② 観光形態別の観光入込客数と観光消費額の比較

平成 22 年度（震災前）と平成 23 年度（震災後）において、観光形態別の実観光入込客数、観光消費額単価及び観光消費額を比較分析した。

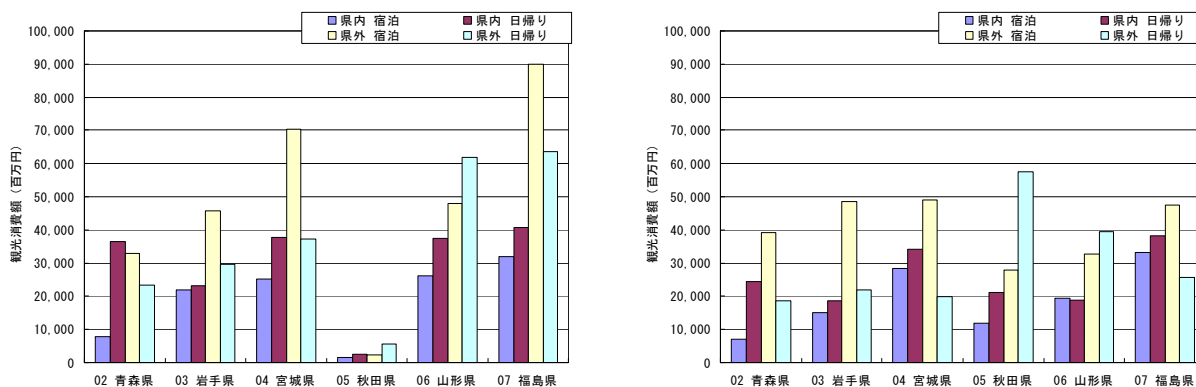
- 実観光入込客数に着目すると、震災前後を通じて、青森県、岩手県、宮城県及び福島県（県内日帰り > 県外日帰り）と、秋田県及び山形県（県外日帰り > 県内日帰り）に大きく分類することができる。また、宿泊客については、総じて県外宿泊客が県内宿泊客を上回るが、平成 23 年度の福島県については県外宿泊客が大幅に減少している。
- 岩手県においては、実観光入込客数では県内日帰り客が、観光消費額単価では県内宿泊客が平成 23 年度に大幅に減少している。今後、全体の実観光入込客数、観光消費額を増加させるためには、県内客に対する県内観光の機運を高める施策も必要と考えられる。



各県の実観光入込客数（左：平成 22 年度、右：平成 23 年度）



各県の観光消費額単価（左：平成 22 年度、右：平成 23 年度）



各県の観光消費額（左：平成 22 年度、右：平成 23 年度）

③ 観光消費額単価の比較

- 東北6県の観光消費額単価の割合を整理し、分析した。
- 県外客／県内客の宿泊客観光消費額単価の割合 (a/b) を見ると、岩手県は他県に比べて高く、平成23年度においても大きく伸びている。一方、県内客の宿泊客／日帰り客の観光消費額単価の割合 (b/d) を見ると、岩手県は他県に比べて低く、平成23年度において大きく落ち込んでいる。平成23年度においては、県内宿泊客の観光消費額単価が他県より著しく低いことから、宿泊客は県外から誘致した方が単価当たりの経済効果が大きいことが分かる。裏返せば、他県より県内宿泊客の観光消費額単価が低いことにより、全体の観光消費額を下げていると言えるため、県内宿泊客の観光消費額単価を改善することも必要と考えられる。
- また、震災により県外客／県内客の日帰り客観光消費額単価の割合 (c/d) が大幅に減少したものの、県内客の日帰り観光消費額単価は増加している。全体の観光消費額を改善するためには、県外日帰り客の観光消費額単価を震災前の状況に改善させることも必要と考えられる。

平成22年度の東北6県における観光消費額単価

都道府県	県内		県外		比率			
	宿泊 b	日帰り d	宿泊 a	日帰り c	a/b	c/d	a/c	b/d
02 青森県	16,876	3,519	28,438	8,013	1.685	2.277	3.549	4.796
03 岩手県	17,131	3,703	28,119	9,321	1.641	2.517	3.017	4.626
04 宮城県	14,936	3,492	24,085	8,170	1.613	2.340	2.948	4.277
05 秋田県	19,782	3,083	25,433	6,571	1.286	2.131	3.870	6.417
06 山形県	19,386	7,314	27,069	9,860	1.396	1.348	2.745	2.651
07 福島県	20,375	4,250	27,455	7,817	1.347	1.839	3.512	4.794

平成23年度の東北6県における観光消費額単価

都道府県	県内		県外		比率			
	宿泊 b	日帰り d	宿泊 a	日帰り c	a/b	c/d	a/c	b/d
02 青森県	16,926	3,296	33,563	7,091	1.983	2.151	4.733	5.136
03 岩手県	10,033	3,870	27,671	6,889	2.758	1.780	4.016	2.593
04 宮城県	17,570	3,734	23,243	6,621	1.323	1.773	3.511	4.706
05 秋田県	25,926	5,406	32,290	11,304	1.245	2.091	2.857	4.796
06 山形県	17,976	3,590	20,406	6,162	1.135	1.716	3.312	5.007
07 福島県	22,308	4,510	29,517	10,847	1.323	2.405	2.721	4.946

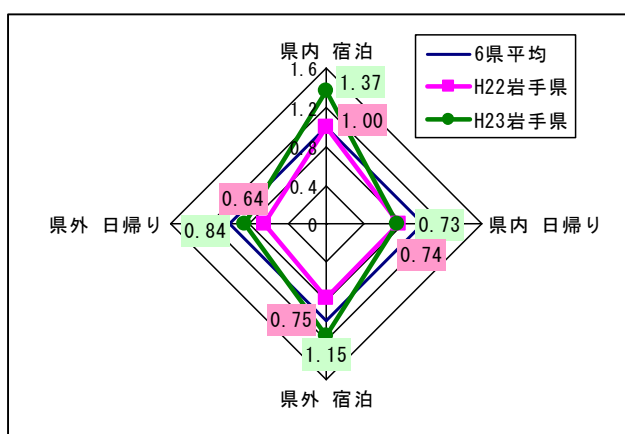
比率	内容	解説	岩手県 H22	増減	岩手県 H23
a/b	宿泊客のうち、県外客がもたらす観光消費額単価の比率	高ければ高いほど、 宿泊客は県外 から誘致した方が、単位当たりの経済効果が大きい。	1.641 (2位)	↑	2.758 (1位)
c/d	日帰り客のうち、県外客がもたらす観光消費額単価の比率	高ければ高いほど、 日帰り客は県外 から誘致した方が、単位当たりの経済効果が大きい。	2.517 (1位)	↓	1.780 (4位)
a/c	県外客のうち、宿泊客がもたらす観光消費額単価の比率	高ければ高いほど、 県外客は宿泊客 として誘致した方が、単位当たりの経済効果が大きい。	3.017 (4位)	↑	4.016 (2位)
b/d	県内客のうち、宿泊客がもたらす観光消費額単価の比率	高ければ高いほど、 県内客は宿泊客 として誘致した方が、単位当たりの経済効果が大きい。	4.626 (4位)	↓	2.593 (6位)

④ 東北6県平均値と岩手県の比率の比較

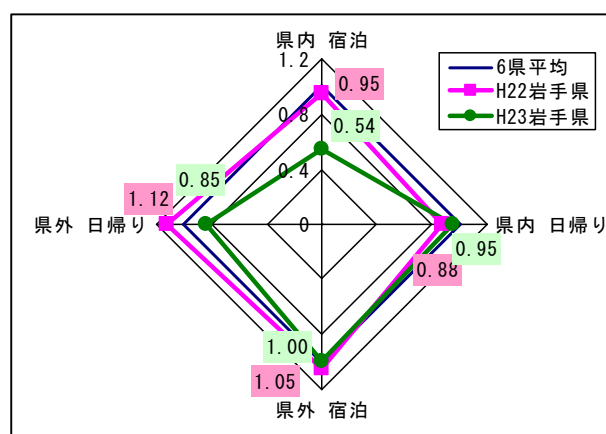
- 項目別の東北6県の平均値を1とした岩手県の比率をレーダーチャートで表示した。
(平成22年度：秋田県は観光消費額単価のみ対象)

- 実観光入込客数では、県内宿泊客（H23）、県外宿泊客（H23）が東北6県の平均値を上回っているものの、その他の項目では下回っている。また、平成22年度と平成23年度を比較すると、県内日帰り客を除く全ての項目で平成23年度の値の方が高い。
- 観光消費額単価では、県外宿泊客（H22）、県外日帰り客（H22）が東北6県の平均値を上回っているものの、その他の項目では下回っている。また、平成22年度と平成23年度を比較すると、県内日帰り客を除く全ての項目で平成22年度の値の方が高い。
- 観光消費額では、県外宿泊客（H23）が東北6県の平均値を上回っているものの、その他の項目では下回っている。

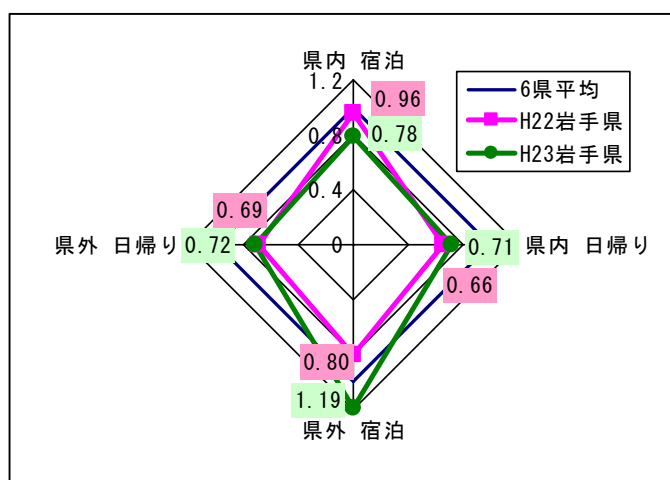
都道府県	①実観光入込客数（千人・回）				②観光消費額単価（円/人・回）				③観光消費額（百万円）			
	県内		県外		県内		県外		県内		県外	
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
H22岩手県	1,269	6,210	1,622	3,193	17,131	3,703	28,119	9,321	21,747	22,998	45,611	29,768
H22平均との比率	1.00	0.74	0.75	0.64	0.95	0.88	1.05	1.12	0.96	0.66	0.80	0.69
H23岩手県	1,495	4,774	1,749	3,173	10,033	3,870	27,671	6,889	15,002	18,474	48,401	21,860
H23平均との比率	1.37	0.73	1.15	0.84	0.54	0.95	1.00	0.85	0.78	0.71	1.19	0.72



実観光入込客数の比率（岩手県）



観光消費額単価の比率（岩手県）



観光消費額の比率（岩手県）

【まとめ】 ①～④の分析の結果、今後、単価当たりの経済効果が大きい県外客の入込増を図りつつ、県内容に対する県内観光の機運を高め（滞在型観光の推進による交通費、宿泊費、土産代、飲食費、入場料等の観光消費額単価底上げ）、「県内宿泊客の観光消費額単価」及び「県内日帰り客の実観光入込客数」を改善していくことが必要と考えられる。